

| | | | | | | | |
|---------|------|------------------------|----|------|------------------|-----|---|
| 学年 | 高校1年 | 教科 | 芸術 | 科目 | 音楽I | 単位数 | 2 |
| 教科書名 | | Mousa1 (教育芸術社) | | 副教材名 | Music Note (啓隆社) | | |
| コース・クラス | | 中高一貫、選抜・N進、 スポーツ、芸能 | | | | | |

1. 目標

- ・音楽の諸活動を通して、創造的な表現の能力を伸ばし、鑑賞の能力を高めるとともに、音楽に対する豊かな感性と音楽を愛好する心情を養う。

2. 授業のねらい

- ・感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽の美しさを感じ取り、創造的な音楽活動の工夫をする。
- ・自己のイメージを持ち、創造的な表現をするための技能を身につける。
- ・多様な音楽を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わう。
- ・合唱を通じて、他者とのハーモニーを作り上げる技術を身につける。
- ・器楽合奏を通じて、合奏する喜びを体感する。
- ・西洋音楽の基礎・基本について学ぶ。

3. 授業の進め方

- (1) 発声練習を、コンコーネ50番などの教材を使いながら行う。正しい発声（ベルカント唱法）を身に付けた上、教科書やプリントの曲を歌唱する。
- (2) ドレミ唱や母音唱を行い、その後原語の発音練習を行う。ただ歌うのではなく、正しい発音や音取りを心掛ける。その楽曲の時代背景や作曲者についても学ぶ。
- (3) 器楽においても、楽譜の読み方から奏法に及ぶまで丁寧に説明をした上で学ぶ。

4. 学習上の留意点

- (1) 教科書、Music note、筆記用具を必ず用意して授業に臨むこと。
- (2) 歌唱する際は、きちんとした姿勢を心掛けて臨むこと。
- (3) 鑑賞の記録等はしっかり記入し、提出すること。また、正しい姿勢で鑑賞することを心掛ける。

5. 定期試験

定期試験期間では行わず、歌唱テストを授業時間中に行う。時期は、各定期試験の1週間前の授業内とする。また、実技試験を行えない状況の際には、授業時間中にペーパー試験を課す場合もある。

6. 評価方法

実技では歌唱テストおよび器楽テストなどを行い、鑑賞ではノートの記載を適切に行なっているかを確認し、評価をする。鑑賞ではノートの記載を適切に行なっているかということも評価の対象とする。授業態度（忘れ物を含む）平常点として、忘れ物、授業態度が適切でない者（遅刻・私語・授業に不必要な持参物等）は減点する。

7. 授業計画

| 学期 | 月 | 単元・学習項目 | 評価方法 | 到達目標 |
|-----|----|--|----------------------|---|
| 一学期 | 4 | ・発声練習、コンコーネ50番よりNO1、校歌斉唱、学園愛唱歌斉唱、翼をください(歌唱)、鑑賞(DVD)「バッハを中心に」 | 実技テスト 提出物 授業態度 | <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を高めることができる。 ・感性が高まり、音楽のよさや美しさを感じ取って、創造的な音楽活動の工夫ができる。 ・自己のイメージを表現するための技能を身に付け、それを生かして創造的に表現することができる。 ・多様な音楽に対する理解が深まり、創造的に鑑賞することができる。 |
| | 5 | 「ファンタジア2000」 | | |
| | 6 | ・歌唱テスト(独唱) 学期に2回 | | |
| | 7 | ・発声練習、コンコーネ50番よりNO2、見上げてごらん夜の星を(歌唱)、鑑賞(DVD)「コーラス」、「天使にラブソングを」 | | |
| | | ・発声練習、コンコーネ50番よりNO3、「O`sole mio」、イタリア語について学ぶ、鑑賞(DVD)「天使にラブソングを2」 | | |
| 二学期 | 9 | ・発声練習、コンコーネ50番よりNO5、イタリア歌曲「Caro mio ben」、鑑賞(DVD)「過去の校内合唱コンDVD」、「ドラム・ライン」 | 実技テスト 提出物 授業態度 | <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を高めることができる。 ・イタリア語の正しい発音ができているか。また、歌詞を理解して歌唱することができる。 ・多様な音楽に対する理解が深まり、創造的に鑑賞することができる。 ・合唱することの意味を考え、歌詞、音取りは正しくできているか。 ・器楽合奏は、自分の技術を磨くことに加え、他者と合わせることがきちんとできる。 ・リズムパーカッションでは、協調性をもって取り組むことができる。 |
| | 10 | ・歌唱テスト(独唱) 学期に2回 | | |
| | 11 | ・合唱コンクールの選曲、及び課題曲の音取り。曲に関しては、その年度の様子を見て選曲する。課題曲に関しても同様。 | | |
| | 12 | ・器楽合奏(打楽器メインの曲およびハンドベル) | | |
| | | ・リズムパーカッション | | |
| | | ・発声練習、コンコーネ50番よりNO8、鑑賞(DVD)・合唱コンクールに向けて、ベートーヴェン「交響曲第九番第四楽章合唱付き」をドイツ語で鑑賞(DVD) | | |
| 三学期 | 1 | ・発声練習、コンコーネ50番、NO11、「野ばら」(ドイツ語)、合唱コンクールの練習。 | 実技テスト 提出物 授業態度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語の正しい発音ができているか。また、歌詞を理解して歌唱できているか。 ・合唱においては、クラスとしてのまとまりが十分であるか、ハーモニーは整っているか。 |
| | 2 | ・合唱コンクール本番 | | |
| | 3 | ・歌唱テスト(独唱)「野ばら」 | | |
| | | ・合唱コンクールの振り返り | | |

※ シラバスの内容(時間や事項)については、理解度やその他の都合により変更することもあります。